

地域の会員交流を深めた 「九州・山口地区会員の集い」

会員の
ひろば

阿部 誠（大分大学）

協同総合研究所は、会員が全国各地に広がっており、それぞれが地域で研究活動を行ったり、協同組合運動に関わったりしているという特徴をもっている。そのため、研究所の活動は東京だけでは完結せず、ネットワーク型の研究組織ということになる。そのことは、研究所として全国的に広がりをもった活動ができる、あるいは各地域に根ざした活動ができるというメリットがあるが、反面では、活動が地域的に拡散してしまう、あるいは地方の会員は研究所活動に参加することが困難となるといったデメリットにもつながる。協同総合研究所の課題は、こうしたデメリットを克服し、メリットをいかに生かした運営体制を構築してゆくかという点にあるとあってよいだろう。現在の協同総研は、こうした全国的なネットワークを必ずしも活用できているとはいえないが、それでも主として日本労協連のネットワークと連携しながら、さまざまな研究集会やシンポジウムの開催などで地域的な広がりをもった活動を展開しており、そうした活動を一層発展させることは、今後の重要な課題のひとつとなっている。

さて、こうしたなか九州では、1998年以来、協同総研独自の研究会として毎年「九州・山口地区会員の集い」を開いてきた。研

究会のもち方は年によって異なっているが、回数を重ねるなかで慣例化してきた感がある。6回目をむかえた今年の研究会は、10月18日（土）に、今年夏に引っ越ししたばかりのセンター事業団九州事業本部（福岡市）の会議室で開かれた。今回は沖縄県名護市で開催されたケアワーク全国集会の翌週という日程になり、集会の準備や参加でお疲れの方も少なくなかったが、それでもこの日は16名が参加し、まずまず盛会であった。

今年の研究会には、協同総合研究所の岡安専務理事と日本労協連専務理事の高野さんに参加していただいた。研究会は、参加者の自己紹介や近況報告に続き、まず、高野さんに「日本労協連の現状と課題」を報告していただいた。高野さんは、今年6月の労協連総会で専務理事に就任したばかりであるが、労働者協同組合連合会がめざす「新しい福祉社会」にむけた具体的活動をどのように展開していくのか、そして、労働者協同組合と連合会がそれぞれ名実ともに労働者協同組合としての実体をもちうるような組織の整備、リーダーの養成などをいかに進めてゆくかが今日の課題となっており、労協連としてそうした取り組みを進めていることが報告された。この報告にたいし、労協法をめぐる最近の動きや自治体への提案活動な

どについて質問が出されるとともに、また、労働者協同組合運動における「連合会」の役割なども議論された。

一方、岡安さんは今年9月下旬にイタリア社会的協同組合に関する調査から帰られたばかりだったため、その調査の成果について報告をお願いした。この報告では、ローマとミラノの社会的協同組合の活動などを紹介しながら、それが地域の社会統合に果たしている役割、社会的協同組合とアソシエーション、コムニタなどとの密接な関係、社会的協同組合と自治体等との連携、協同組合の事業を展開する上でのコンサルチオの役割などに言及された。

この研究報告をうけて出席者からは、イタリアの社会的協同組合とはどのような組織なのか、あるいはイタリアの協同組合全体において社会的協同組合はどのような位置にあるのかなどの質問が多数出された。イタリアの協同組合を研究されている吉田省三さんも出席されてため、吉田さんをふくめてこうした点をわかりやすく説明していただき、イタリアの協同組合についてよい勉強の機会になった。なお、今回のイタリア調査の成果については、12月の協同総合研究所研究会でも報告が行われる予定であり、我々は東京より一足早く調査の成果を聞く機会を得ることになった。

研究会の後は、おきまりの懇親会。この日はたまたま日本シリーズの初日でもあり、ダイエーホークスの地元である福岡では、居酒屋でも日本シリーズを実況中継していたが、日本シリーズの話題を含めて出席者の懇親を深めた。

九州ではこうした会を定期的に行っている。次回は九州に限定せず、こうした活動に関心をもつより多くの方々に参加していた

だき、協同総研の地域での活動を広げたいものである。

協同総研2003年度 第4回研究会 「イタリア社会的協同組合調査報告」

今年の9月に協同総研と日本労協連の共催で、田中夏子さん(都留文科大学)のご協力をいただいてローマ・ミラノを中心に行った調査の参加者の報告を中心に、イタリアの社会的協同組合の現在の状況について理解を深めたいと思います。

日時：2003年12月20日(土)

13:30 ~ 16:30

会場：日本労働者協同組合連合会会議室

東京都豊島区南大塚2-33-10 4階

JR大塚駅 南口下車 5分

参加費：会員・学生 500円

会員外 1000円

どなたでもご参加いただけます。

報告：

「社会的協同組合の課題の変化と調査のねらい」田中夏子(都留文科大学)

「障害者運動から見たイタリアの協同組合運動(仮)」鈴木勉(佛教大学)

「社会的協同組合とその周辺領域」

岡安喜三郎(協同総合研究所)

「若者の自立支援と社会的協同組合(仮)」高成田健(労協センター事業団)ほか

質疑



お問い合わせは協同総研まで